

平成 26 年度広島市立図書館主要事業（案）

1 コンピュータシステムの再構築

図書の貸出・返却などの窓口業務の効率化や不正持出の防止を図るため、ＩＣタグを導入するとともに、システムの再構築を行う。

- ・基本設計、システムの開発を行う。平成 27 年 10 月に新システム稼働予定

2 広島市立中央図書館開館 40 周年関連事業

平成 26 年 10 月に中央図書館開館 40 周年、11 月に移動図書館車「ともはと号」巡回開始 50 周年を迎えることから記念事業を実施する。

- ・記念講演会

- ・企画展「中央図書館の歩み ～これまでとこれから～」

中央図書館、ともはと号の歴史及び基町地区周辺の写真募集・展示、全国の図書館の取組の紹介

- ・体験コーナー「電子書籍を読んでみよう」

3 被爆体験継承事業

全図書館で、原爆・平和に関する資料の収集・保存を行うとともに、8 月を中心に展示、講演会、おはなし会を実施する。

- 中央図書館 ・企画展「ヒロシマと学徒動員」

平和記念資料館、公文書館、学校と連携して実施

- 全図書館 ・原爆・平和に関する図書等展示、おはなし会等の実施

4 広島に関わる資料の充実・活用

全図書館で広島に関わる資料の充実及び活用を図る。

- 中央図書館 ・企画展「広島ゆかりの歌人たち」

広島文学資料室収集対象作家である歌人岡山巖（生誕 120 年没後 45 年）を中心に郷土に関係した歌人たちを紹介

- ・浅野文庫解題目録(和書・漢籍)作成記念企画展及び講演会(公益財団法人移行記念事業)

浅野文庫資料の展示と解題作成に関する講演会を開催

- ・企画展「広島のものづくり」

可部山まゆ織、高盛絵、銅蟲、矢野かもじ等広島市の伝統産業・工芸品について紹介

- ・第 4 回「ひろしま紙芝居祭」開催

- 湯来河野 ・パネル展示「江戸の湯来を見る」（公益財団法人移行記念事業）
浅野文庫所蔵の岡岷山作「都志見往来日記・同諸勝図」に描かれて
いる湯来地区のパネルの展示と湯来の民話や紙芝居を紹介
- 全図書館 ・郷土資料コーナーの充実等

5 子どもたちへの読書支援

「広島市子どもの読書活動推進計画」（第二次計画）に基づいて実施する。

- こども図書館 ・「家庭読書アドバイザー養成講座」（仮称）の開催（公益財団法人移行記念事業）
乳幼児の読書支援のためのアドバイザーを養成し、平成 27 年度
から幼稚園等に派遣する。
 - ・「発達段階別図書リスト」の作成・配布
 - ・「ほんはともだち‘14」の発行・配布今回から掲載する図書の表紙画像をカラーにする。
 - ・「おはなし会ボランティア活動の手引き」の作成
- 全図書館 ・「おはなし会」の実施等

6 開館 30 周年記念事業

- 東区図書館(昭和 59 年 5 月 12 日開館)
- 安佐南区図書館(昭和 60 年 2 月 16 日開館)

7 施設の維持補修

施設設備の老朽化等により不良となっている箇所について、維持補修を行う。

- ・中央図書館給水設備の維持補修、安佐南区図書館外壁の維持補修、まんが図書館エレベーターの改修など

市立図書館の管理運営は、指定管理者である財団法人広島市未来都市創造財団（指定期間：平成 26 年度～平成 29 年度）が行います。